

Midcareer **A**cademic learning **P**rogram
臨床研究オンライン学習プログラム
－医療に携わる全ての人のために－

eMAP

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構
(iHope International)

構成

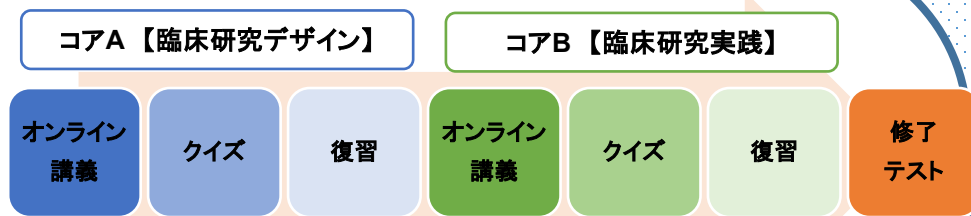
eMAPは臨床研究に関するリテラシーを学ぶための遠隔学習プログラムです。オンライン講義とクイズで構成され、Web上の学習サポートサイトでオンライン講義の視聴、クイズの回答、復習ができます。ネット環境があれば、いつでもどこでもご自身のペースで受講いただけます。

1 オンライン講義

WEB上で受講できるビデオ講義です。

【臨床研究デザイン】について学ぶコアAコース 12コマ
 【臨床研究実践】について学ぶコアBコース 12コマ

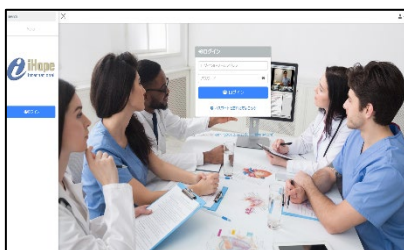
の全24コマ(1コマあたり45~60分程度)で構成されています。



2 到達度確認クイズ

オンライン講義受講後の理解度を計るクイズで学習到達度を確認できます

学習サポートサイト



<https://ihope.quizgenerator.net/>

講義のダイジェストがご覧いただけます。

★事前に視聴が可能な動作確認をお願いいたします

ID: emap1234 パスワード: emap1234

オンライン講義



到達度確認クイズ



参考図書



※参考図書は別売りです

オンライン 講義

「現場の疑問解決に必要な分析スキルを身につける」をコース全体の目標とした、臨床研究デザインと実践のカリキュラムをご用意しています。

| コアA | → - 臨床研究をデザインする - |
|--------------|--------------------|
| あいまいな疑問を形にする | 第 1講 研究デザイン7つのステップ |
| | 第 2講 疑問を構造化する |
| | 第 3講 疑問のモデル化 |
| データの測り方 | 第 4講 測定をデザインする |
| | 第 5講 存在・発生・効果の指標 |
| 研究デザインの型を選ぶ | 第 6講 研究デザインの型 |
| | 第 7講 介入研究 |
| | 第 8講 コホート研究・横断研究 |
| | 第 9講 ケースコントロール研究 |
| 研究結果をゆがめる原因 | 第10講 比較の質を落とす原因(1) |
| | 第11講 比較の質を落とす原因(2) |
| | 第12講 比較の質を高める |

| コアB | → - 臨床研究を実践する - |
|--------------------|-------------------------|
| 統計手法① 記述・単変量解析編 | 第 1講 記述統計 |
| | 第 2講 連続変数の比較 |
| | 第 3講 カテゴリ変数の比較 |
| 統計手法② 多変量解析編 | 第 4講 相関と回帰・線形回帰分析 |
| | 第 5講 ロジスティック回帰分析 |
| | 第 6講 生存時間解析 |
| データ収集の計画・実践 | 第 7講 調査研究法 I 理論編 |
| | 第 8講 調査研究法 II 実践編 |
| | 第 9講 心理尺度の使い方 |
| その他のトピック | 第10講 サンプルサイズ設計 |
| | 第11講 臨床研究のエシックスとインテグリティ |
| | 第12講 QOL/PRO 測定の意義と課題 |

お試し
試聴

講義の一部をご試聴いただけます。ご利用の環境で問題なく視聴できることを必ずご確認ください

<https://ihope.quizgenerator.net/> (ID:emap1234 PW:emap1234)

【試聴方法】上記URLにID・PW[emap1234]でログインし、「学習する」から「MAP講義サンプル動画」をご覧ください

参考図書

充実した参考図書で学習をサポートいたします。
参考図書と合わせて受講することで、より学習効果が高まります。

※参考図書は別売りです。受講料には含まれておりません。

eMAP
コアAB
対応

臨床研究の道標 第2版〈上巻〉・〈下巻〉 福原 俊一(著)

上巻:ISBN978-4903803265 下巻:ISBN978-4903803272

この本は、「臨床研究デザインの旅で遭難しないためのガイドブック(道標)」です。

- 世界の論文を読み解き、解釈したい方
- 診療現場で抱いた疑問の答を自分自身で見つけるために研究したい方
- 研究の結果をまとめ、学会や学術雑誌に発表したい方
- いつもの症例報告から一歩前へ踏み出したい方

この本を手にも、症例報告から一歩前に飛び出してみましょ！

医師に限らず、医療に携わるすべての医療者の方々にお読みいただける1冊です。



概念モデルをつくる

松村 真司(著)

ISBN978-4903803043



誰も教えてくれなかったQOL活用法
第2版

竹上未紗、福原俊一(著)

ISBN978-4903803203



eMAP
コアA
対応

リサーチ・クエスチョンの作り方
第3版

福原 俊一(著)

ISBN978-4903803241



サンプルサイズ的设计

山口 拓洋(著)
大西 良浩(製作協力)

ISBN978-4903803159



eMAP
コアB
対応

参考図書の詳細については、
特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International)の「出版物のご案内」をご参照ください。

出版物のご案内 <http://www.i-hope.jp/activities/publication>

MAPでは各分野最高水準の講師陣による講義をご用意しております。

福原 俊一 先生

京都大学 名誉教授
ジョンズホプキンス大学 客員教授
特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International) 学術諮問委員

【略歴】

米国内科学会 専門医・卓越会員 (MACP)。北海道大学医学部、ハーバード大学院 (臨床疫学) 卒。カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF) 内科レジデント、都内病院で循環器内科・総合内科、東京大学 講師の後、現職。東京大学 教授併任 (2000～2002年)。2012年 福島県立医科大学 副学長を兼務。

【研究・教育】

国際的アウトカム研究 DOPPS (www.dopps.org)、腰痛のアウトカム研究、腰部脊柱管狭窄症診断サポートツール開発検証研究 (日本整形外科学会)、運動機能コホート研究 (LOHAS、福島県)、臨床研究データベース構築研究 (厚生科学研究) などに主たる研究者として従事。医療疫学教室に20年間で110名の院生が在籍。83名が博士取得、うち約70%が大学教員に (教授9名、准教授20名含む)。同期間に研究室から査読付き国際誌 N Engl J Med, The Lancet, JAMA, BMJ, Am J Med, JASN, Kidney Int, Am J Kid Dis, Spine, Sleep, Chest などに原著論文を500編以上発信。

【社会的活動】

米国内科学会 (ACP) 日本支部 Vice-Governor、国際QOL学会 理事、日本プライマリ・ケア連合学会 理事、ICH (治験に関する国際ハーモナイゼーション) E8 レポーター、中医協 医療技術評価委員、日本医学会 加盟検討委員などを歴任。内閣府・国税庁 NPO法人 健康医療評価研究機構とともにアカデミック医療人材育成や臨床研究を推進。第7回 世界医学サミット (WHS) President を務める (ベルリン)。2012年～2014年 ACP日本支部年次総会 会長 (京都)。日本臨床疫学会 代表理事。

【著書】

“Enhancing the Professional Culture of Academic Health Centers” (Radcliffe Pub. UK) の6章で、デザイン塾とMCRの経緯と成果を執筆。「臨床研究の道標 - 7つのステップで学ぶ研究デザイン」(健康医療評価研究機構) は、ベストセラー、ロングセラーとなった (改訂第2版、2017年)。2020年 英語版を出版。ほか「リサーチ・クエスションの作り方」(同)、「誰も教えてくれなかったQOL活用法」(同)、「誰も教えてくれなかった診断学」(医学書院)、「QOL評価学」(中山書店) など。

京都大学大学院医学研究科 副研究科長・社会健康医学系専攻長 健康情報学分野 教授
 特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International)
 学術諮問委員／倫理委員会委員長

中山 健夫 先生

【略歴】

1987年 東京医科歯科大学医学部卒
 1987 - 1989年 東京厚生年金病院(現・JCHO東京メディカルセンター)内科研修後
 1989 - 1999年 東京医科歯科大学難治疾患研究所疫学部門 助手
 1998 - 1999年 米国UCLAフェロー
 1999 - 2000年 国立がんセンター研究所がん情報研究部 室長
 2000年 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻助教授
 2006年 - 同教授(健康情報学)
 2010年 - 同副専攻長
 2016年 - 同専攻長、医学研究科副研究科長
 2001 - 2017年 EBM・診療ガイドラインに関する厚生労働科学研究代表研究者
 2014 - 2016年 厚生労働科学戦略研究「健康医療分野における大規模データの分析及び
 基盤整備に関する研究」代表研究者
 2014 - 2018年 文部科学省 医師のための臨床研究遠隔学習プログラム”MCR-Extensionコース”
 (文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム)責任者

福間 真悟 先生

京都大学大学院 医学研究科 臨床系医療医科学講座 特定教授
 広島大学大学院 医系科学研究科 疫学・疾病制御学 教授
 特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International) 学術諮問委員

【略歴】

2002年 広島大学医学部医学科 卒業
 2002 - 2010年 腎臓・透析・内科全般の臨床医として広島で勤務
 2008年 腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾に5期生として参加
 2010年 京都大学大学院医学研究科 医療疫学分野 博士課程
 NPO法人健康医療評価研究機構(iHope International)客員研究員
 2013年 京都大学医学部付属病院臨床研究総合センター 特定助教
 2014年 福島県立医科大学 特任准教授 兼任
 2014年 京都大学医学部付属病院臨床研究総合センター 特定講師
 2016年 京都大学医学部付属病院 臨床研究教育研修部 特定准教授
 2017年 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻
 京阪神次世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム(K-CONNEX)特定准教授
 2022年 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 准教授
 2024年 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 特定教授
 2024年 広島大学大学院 医系科学研究科 疫学・疾病制御学 教授

山本 洋介 先生

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 教授
特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International) 学術諮問委員

【略歴】

2002年 京都大学医学部 卒業
2002年 洛和会音羽病院総合診療科 研修医
2003年 京都大学医学部附属病院皮膚科 研修医
2003年 公立豊岡病院皮膚科
2006年 京都大学大学院医学研究科博士(医学)課程
2010年 京都大学大学院医学研究科医療疫学特定講師
2013年 京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター特定講師
(2013年 英国Sheffield大学 visitor academic)
2016年 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 准教授
2021年 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 教授

脇田 貴文 先生

関西大学 社会学部 社会学科 心理学専攻 教授
特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International) 学術諮問委員

【略歴】

2001年 南山大学 文学部 教育学科 卒業
2003年 名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 博士前期課程 修了
2006年 名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 博士後期課程 所定単位修得退学
2007 -2008年 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学専攻 産官学連携研究員
2008 -2011年 関西大学 社会学部 社会学科 心理学専攻 助教
2011 -2017年 関西大学 社会学部 社会学科 心理学専攻 准教授
2012 -2013年 University of Massachusetts Medical School
Department of Quantitative Health Sciences
Visiting Associate Professor (関西大学在外研究員として)
2018年 - 関西大学 社会学部 社会学科 心理学専攻 教授

竹上 未紗 先生

東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 講師
特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 (iHope International) 上席研究員

【略歴】

- 2002年 神戸大学医学部保健学科卒業
- 2004年 京都大学大学院医学研究科にて修士
- 2007年 京都大学大学院医学研究科にて博士号を取得
- 2005－2007年 京都大学医学部保健学科看護学専攻非常勤講師
- 2008年－ 京都大学大学院医学研究科医療疫学分野助教
- 2011年－ 国立循環器病研究センター研究開発基盤センター予防医学・疫学情報部 研究員
- 2015年－ 国立循環器病研究センター研究開発基盤センター予防医学・疫学情報部
EBM・リスク情報解析室 室長
- 2019年－ 国立循環器病研究センター 研究所 予防医学・疫学情報部
EBM・リスク情報解析室 室長
- 2023年－ 東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野講師

大西 良浩 先生

一般社団法人 PeDAL解析グループ長
京都大学大学院医学研究科 医療疫学分野 非常勤講師

【略歴】

- 1985年 京都大学薬学部 卒業
- 1986－2006年 民間企業
- 1996年 京都大学 博士(薬学)
- 2001－2003年 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系 専攻修士課程
- 2006年－ 京都大学大学院医学研究科 非常勤講師
- 2007年－ NPO法人 健康医療評価研究機構 (iHope International)
- 2023年－ NPO法人 健康医療評価研究機構 (iHope International) 上席研究員
一般社団法人 PeDAL解析グループ長

受講者の声

現在までに、全国各地の医療関係者 約500名の方々が受講され大変好評をいただいております。



臨床研究に関するリテラシーを学びたい方でしたら、
医師、歯科医師に限らず、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、臨床工学士、はり師・きゅう師まで、
 幅広く受講いただけます。



- MAPで研究デザインを学んで診療への取り組み姿勢が変わった。
 (医師 2013年 受講修了)
- 臨床研究ではデザインを考えるとところが最も重要であるという点に気づいた。
 (製薬会社社員 2011年 受講修了)
- 講師の皆さんの講義スキルが高く、分かりやすかった。
 (医師 2013年 受講修了)
- 講師の「理解してほしい」という熱意が伝わってきた。
 (医師 2013年 受講修了)
- チームで取り組むことで、互いのモチベーションがアップした。
 (看護師 2013年 受講修了)
- いつかチームで学会発表したい。
 (看護師 2013年 受講修了)
- 他職種の方と意見交換することで、新たな気づきが生まれた。
 (臨床工学技師 2013年 受講修了)
- 自由に学習できよかったです。臨床研究を進めるうえで重要なターニングポイントになると思います
 (医師 2014年 受講修了)
- リアルタイムの講義では、聞き逃したところを振り返れないが、これは何度でも見返せるので便利である。
 (医師 2015年 受講修了)
- 臨床研究を体系的に、レクチャーできるシステム、講師がほとんどいない中で、eMAPは大きな意味があると思います。
 (大学院生 2015年 受講修了)
- 多くの現場のあいまいな疑問をこのシステムを利用して、具体的に解決していけたらいいなと強く思いました。
 (産業医 2015年 受講修了)

お申込み

お申込みは随時受付けております。
コースと受講期間をご確認の上、お申込みください。

受講料
受講期間

| | |
|---|--------------|
| コアABコース(全24コマ) 受講期間:お申込み手続き完了から1年間 | 62,000円(税込)* |
| コアA/コアBコース(各12コマ) 受講期間:お申込み手続き完了から6か月間 | 32,400円(税込) |

*コアABコース(24コマ)でお申込みいただくと、割引価格で受講いただけます。

申込
フォーム

<https://www.i-hope.jp/rf6v>

ご入金確認後、学習サポートサイトのアカウント情報(ID・PW)をご連絡いたします。

申込フォームQRコード



問合せ

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 iHope International MAP事務局
〒604-8006 京都市中京区河原町通二条下る二丁目下丸屋町403番地
TEL 075-555-3457 FAX 075-256-8660
e-mail: map@i-hope.jp HP: <http://www.i-hope.jp>

よくある
 ご質問

よくあるご質問を掲載しております。
 その他、ご不明な点等がございましたら事務局までお問合せ下さい

| 質問 | 回答 |
|---|--|
| タブレットやスマートフォンで受講できますか？ | はい。受講いただけます。 |
| オンライン講義の配信スケジュールを教えてください。 | 受講開始時にお申込みいただいたコースの全講義を配信いたします。受講期間内であれば全てのオンライン講義をご視聴いただけますので、期限までに修了できるよう取り組んでください。 |
| 各コースは受講期間内に終える必要がありますか？ | 各コース(12コマ)のカリキュラムは6ヶ月で終了可能な分量です。カリキュラムは間を開けずに続けて受講いただくことで効果が期待できますので、期間内に受講してください。受講期間内に終了されずに、引き続き受講をご希望の場合は、再度お申込の必要があります。受講費用も改めて発生しますのでご注意ください。 |
| 短期間で集中して学習した方が身に付きやすいですか？ | 短期的に集中して学習いただくことで、学習理解が深まることも期待されます。また、継続的に学習いただくことも、非常に重要と考えております。受講者の皆様の無理のない範囲で受講いただける期間として、各コースの受講期間(12コマ:6ヵ月、24コマ:1年間)を設定しておりますが、短期間での学習を希望される方はコアABコース(24コマ)でお申込みいただくことで、6ヵ月間で修了が可能です。 |
| ちゃんと継続できるか不安です。 | 無理のない範囲で学習可能なカリキュラム構成、クイズなど、学習をサポートするコンテンツをご用意しております。臨床研究について初めて学ばれる方にも、理解可能な内容となっております。 |
| 修了証は発行してもらえますか？ | コアA・B 全24コマご受講後のテストで、一定の点数を取得された方に修了証を発行いたします。 |
| 請求書による銀行振込で支払いたいです。 | 請求書による銀行振込でのお支払いをご希望(所属施設が受講料を負担 など)の場合、お申込み時に「お支払い方法」をお伺いしておりますので、『銀行振込』を選択の上、必要書類(請求書・領収書など)およびご請求先名、その他ご指定されたい事項を備考欄にご記入ください。 |
| 医師以外でも受講できますか？ 内容は、医師用、コメディカル用などありますか？ | 臨床研究に関するリテラシーを学びたい方でしたら、医師に限らず、看護師、薬剤師、検査技師、栄養士の方々や、事務職の方まで幅広く受講いただいております。eMAPの内容は、職種にかかわらず同じものを受講いただいております。臨床研究に関する学習になりますので、講義内容には医学的なものが含まれますが、医師以外の方々にも十分理解いただける内容で構成されております。 |
| 医局単位などグループでの参加は可能ですか？ | グループでお申込みの場合でもカリキュラムに変更はございません。また、受講料の優待価格や割引プランのご用意はございません。なお、グループで受講をご希望の方には、グループで学ぶ臨床研究オンライン学習プログラム「gMAP」をお勧めいたします。 |
| 申し込み前の講義試聴は可能ですか？ | オンライン講義は、学習サポートサイト(https://ihope.quizgenerator.net/) [ID/PW: emap1234]でご試聴いただけます。 |
| 過去、iHopeのセミナーを受講していなくてもeMAPは受講できますか？ | 臨床研究学習にご興味のある方でしたら、どなたでも受講いただけます。 |

e-Learning型の「eMAP」にグループ実習を組み合わせた「gMAP」のグループ実習にご参加いただけます。

「gMAPは」1サイト3名～20名のメンバーで構成したグループで実習を行い、サイト間でのライブ討論を月1回、1年間で計8回実施し研究計画の骨格を仕上げます

1 オンライン講義 (eMAP) で事前学習

2 グループで課題解決

講義ごとに設定された課題にグループで取り組むことで実践的に理解を深め、同時に課題解決に必要なチーム力も養います。

3 全員参加のライブディスカッションで課題解決

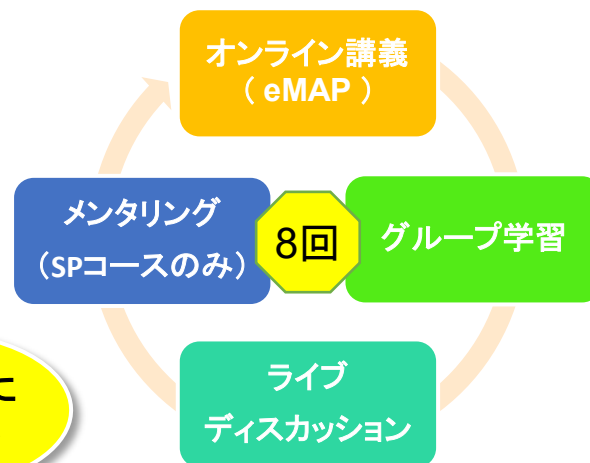
テレビ会議システムなどを利用し、グループで取り組んでいた課題について全参加者でディスカッションを行います。臨床研究のプロフェッショナルが解説・指導致します。



4

オプション
SP
コース

ご自身のResearch Question から研究プロトコルを作成するメンター付の実習プラン「gMAP -SP」コースではグループメンタリングを年8回、プロトコル発表を年2回行います



こんな方におすすめ

- ・一人での学習継続に自信がない
- ・知識を実践的に活用できるようにしたい
- ・将来チームで研究を行いたい
- ・チームで課題解決する力を身につけたい

受講料

※eMAPを受講済の方は優待価格で受講頂けます

gMAP : 1名 100,000円 (3名以上でお申込み下さい)

gMAP-SP: 1グループ(4名まで) 800,000円 ・ 5人目以降 1名 150,000円

お申込

<https://goo.gl/Vyzn2C>

gMAPのお申込みはこちらから→

お問い合わせ

gmap@i-hope.jp

iHope gMAP事務局



開始は毎年5月を予定しております。(参加グループは随時受付中)